

♡ ^しみんなに知^{たいせつ}ってほ^{こと}しい大切な事 ♡

1. ^{ひと}人の^{けつえき}血液は、さわらない、さわったら、

^{あら}すぐに^{なが}洗い流す！

(^{じぶん}自分の^{けつえき}血液も^{たにん}他人にさわらせない)

2. けが・^{はなち}鼻血が出た時は、^{じぶん}自分で

^{てあて}手当や^{しけつ}止血できるようにする！

3. けがをした^{ともだち}友達への^{おも}思いやり♡

* テッシュをわたす・^{せんせい}先生を^よ呼びに

行く・^{はげ}励ます^{など}等

* エイスに^{ばうふ}殴らず^{じこ}病気に^{あざむ}かかった人は不安です。

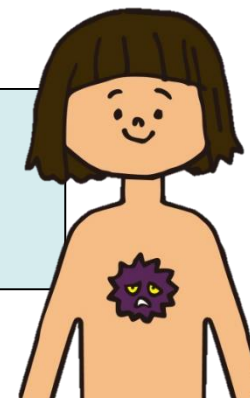
^{きんよく}仲良く・^{げんじく}優しくされると^{げんき}元気がでます。

HIVに感染した場合

感染：熱がでる・頭痛などの
カゼに似た症状が現れる
＊ほとんどの人は症状なし



潜伏期間：感染力は持っているが
まだ症状がない



エイズ発病



数年
↓
10
数年

クイズ

- ① HIVに感染するといずれはAIDSを発症する
- ② エイズになるとそれが原因で必ず死ぬ
- ③ 検査は病院で受けるもので高額な検査費用がかかる
- ④ 検査をすると医療機関から個人情報や家族や学校などに漏れる危険性がある

全部×です。
誤解していたのはどれですか？

治療でエイズ発症を防ぐ

治療しない場合は約10年

HIV感染

潜伏期間

AIDS発症

治療によりAIDSの発症を抑えることができ、それまでと変わらない生活を送ることも可能！





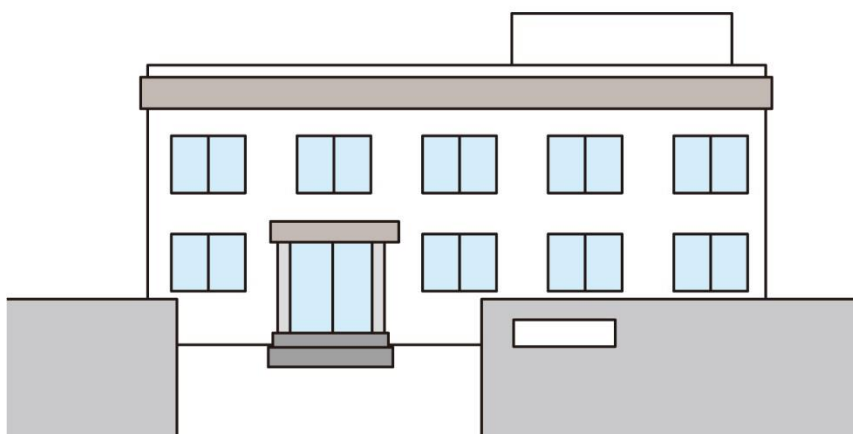
けれど、エイズを治す薬はまだ
ありません。

心配なときは検査を受けよう

☆ HIV検査は、**保健所** で

とくめい

匿名・**無料**で受けることができます



キャンペーンポスターから 私達の時代のAIDSを考えよう！

1988年



1991年



男性の一言に注目！

ポ 初
ス め
タ の
ー A
IDS
啓
発

キャンペーンポスターから 私達の時代のAIDSを考えよう！

1998年



2001年

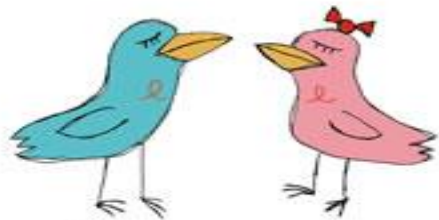


時代が
変わる。
君が
変わる。
大切な
人と
生きる
ために。

自分
自身
を
大切
に
する
こと。
エイズ
予
防
に
つ
な
が
る
こ
と。

キャンペーンポスターから 私達の時代のAIDSを考えよう！

2008年



Living Together

大切なパートナーの為に、
できる事からはじめよう。



12月1日は世界エイズデー。

Living Together
—ともに生きていくために—

制作：日本エイズ学会、エイズ予防財団、エイズ予防国際センター、エイズ予防国際センター、エイズ予防国際センター

2009年



12月1日は世界エイズデー

話しあうって、大切。



Living Together～いま、何をすれば良いのか聴かせて？～

制作：日本エイズ学会、エイズ予防財団、エイズ予防国際センター、エイズ予防国際センター、エイズ予防国際センター

今、何をすれば良いのか
教えてほしいな。

大切な誰かのために
もっと身近にAIDS。

キャンペーンポスターから
私達の時代のAIDSを考えよう！

2013年

STOP AIDS



12月1日は世界エイズデー

エイズに関する電話相談 0120-177-812

厚生労働省・公益財団法人エイズ予防財団 エイズ予防情報ネット <http://aipi-net.jp/aip.or.jp/>

2014年

あなたを、知りたい。

— あなたのこと、あなたを守るためのこと —



STOP AIDS

12月1日は世界エイズデー

H
I
V
を
語
ろ
う。
恋
愛
の
数
だ
け

あ
な
た
を
知
る
こ
と
で
つ
な
が
る
命
。生
ま
れ
る
命
。

キャンペーンポスターから 私達の時代のAIDSを考えよう！

2019年



2022年



2022キャンペーンテーマが掲げる メッセージ

AIDS ≠ 死の病

●研究の進歩で、早期発見と早期治療を行うことで、学校へ行ったり、働いたり、社会の一員とし生活を送ることができるようになった。

→ AIDS の発症を遅らせることが可能！

→ より「身近な病」になったということ！



ポスターから見たこと



最初は・・・

「**うつしてはいけない**」っていう、感染者だけが気をつける立場の病気でした。

世界でたった数人から始まった「**外国で起きている**」病気でした。

でも今は・・・

自分自身も感染者も「**お互いに気をつけなくてはいけない**」病気です。

「**国、年齢、性別なんて関係ない**」病気です。

自分自身で予防したり、検査を受けたり、**大切な身近な関係**から
考えて、教え合って、向き合っていく必要のある病気なのです。



健康な私達と同じように、社会の中で
エイズと共に生きている人がいる**今**。

だからこそ、様々な場所で、エイズに
対する**差別**や**偏見**を無くさなければならない**今**。
全ての人の**正しい認識**を育てなければならない**今**。



誰もが安心して生活できる環境づくりが今必要とされています！

＊保健室から大原中の皆さんへ＊

エイズに限らず、どんなことでも
差別や偏見からは何も生まれません。
まずは、相手のこと、自分のことを
「少し知る」ことから始めてほしい。



もし、あなたのまわりに
差別や偏見で
苦しんでいる人がいるとき・・・

あなたなら、
どうしますか？

正しい知識

正しい行動

